



第1章 第3次東大阪市子ども読書活動推進計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨:子どもの自主的な読書活動を推進する
2. 国・府の動向
3. 第3次東大阪市子ども読書活動推進計画と関連計画
4. 第3次東大阪市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方

第2次推進計画で掲げている「子育て支援サービスや学校連携などを通して乳幼児期から東大阪市への愛着を育み、子どもたちの自主的な読書活動を推進する」という考え方を継承しつつ、インターネット利用の低年齢化やSNSの浸透、GIGAスクール構想導入、新型コロナウイルス感染症の影響など、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応した推進計画とする。

- (1)読書に親しむ機会の提供
- (2)読書環境の整備
- (3)関係機関との連携、協力体制の整備
- (4)読書活動を進める人材育成
- (5)広報・啓発活動の推進
- (6)社会変化に対応した読書活動の推進

コロナ禍においても工夫をしながら取組を進め、子どもたちの環境に合わせた情報通信機器の活用やSNSを利用した情報発信に努める。

5. 計画対象及び期間

おおむね18歳以下／令和6年から令和10年までの5年間

第2章 第2次東大阪市子ども読書活動推進計画の成果と課題

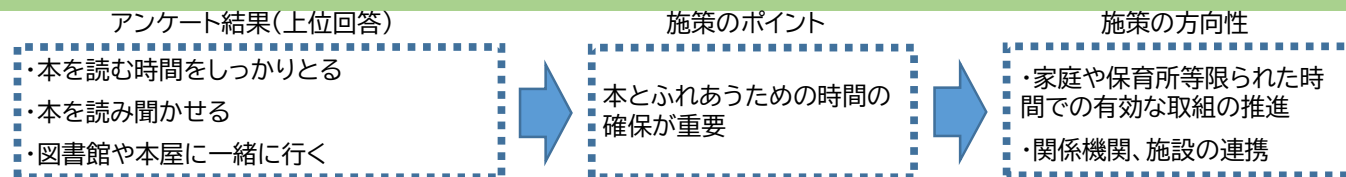
各計画体系にかかる成果と課題



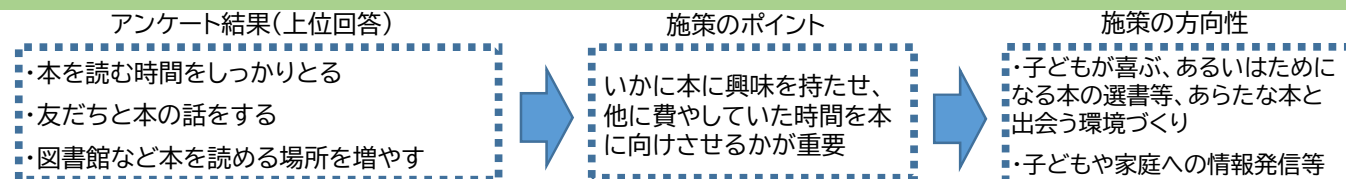
第3章 アンケート調査(抜粋)

「子どもがもっと本を読むようになるにはどんな取組が必要か」との設問に対して、それぞれの対象者の回答から見てきたこと。

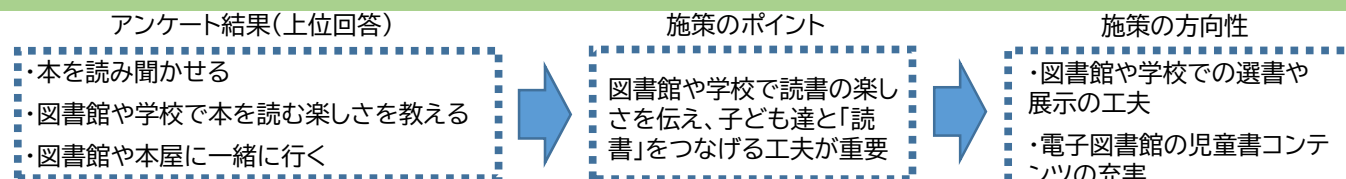
未就学児保護者



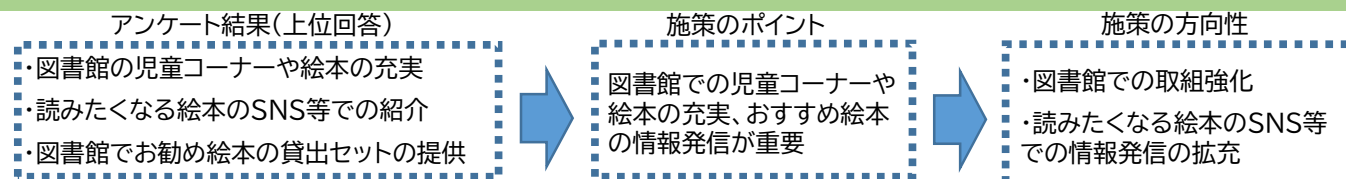
小中学生



図書館利用者



ブックスタート事業対象者



3つのポイント！ ① 関係部局と連携した読書時間を増やすための取組 ② 図書館や学校での読書につなげる取組 ③ 様々な情報発信の取組

第4章 第3次東大阪市子ども読書活動推進計画の体系と方策

1. 計画体系

- (1)家庭・地域における読書活動の推進
- (2)保育所・幼稚園等における読書活動の推進
- (3)学校における読書活動の推進

- (4)図書館における読書活動の推進
- (5)社会変化に対応した読書活動の推進
- ①コロナ禍における読書活動の推進
- ②情報通信機器を活用した読書活動の推進

2. 子ども読書活動推進のための方策
具体的な施策を素案にて記載

第5章 子ども読書活動推進施策の推進に向けて

1. 推進体制

子ども読書活動に関わる関係部局で形成された「東大阪市子ども読書活動推進会議」にて推進

2. 推進計画の進行管理

「東大阪市子ども読書活動推進会議」にて確認、評価し、施策の再検討や調整を行う。「図書館協議会」に報告し、意見を参考に改善を図る。

3. 評価指標

体系別の進捗評価指標を設定し、効果的な推進につなげる